

○温室効果ガス排出削減報告書一覧（静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条第2号に該当する事業者）

事業所名	実施年度	温室効果ガス排出量						原単位排出量				基本対策				特色取組		減事業計画			その他の温暖化対策																		
		目標設定	基準年度	基準値 (t-CO2)	目標年度	目標値 (t-CO2)	基準年度比 (目標)	実績 (t-CO2)	基準年度比 (実績)	目標設定	基準年度比 (目標)	基準年度比 (実績)	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	事業	参画した内容	削減合計	削減後の温室効果ガス排出量	基準年度比	自己評価点数分布												
合同会社西友	30	28	10,410	31	10,410	100.0%	9,756	93.7%	★	100.0%	93.7%	29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	空調機、冷凍冷蔵設備のメンテナンス強化	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域や学校に対し、環境に関するイベントや出前講座を開催すること。	エコ学習会の継続実施											61~80									
												29-31	運用対策	変換合理化・照明・事務機器	適正照度の維持・管理	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄物の削減を図ること。	レジ袋の削減の継続推進																				
												29-31	運用対策	伝熱合理化・空調・給湯	空調設定温度、室温の適正化																								
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	30	28	48,003	31	52,300	109.0%	47,718	99.4%	★	97.0%	88.4%	29-31	運用対策	推進体制の整備	S014001:2015年度版数値、各部門が2015年度版数値に基づき活動を実施。推進体制の強化を目指し、内部監査員を144人まで増員した(2017年度56人増員)	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域や民間団体が主催する環境関連事業に協力すること。	一輪財団法人セブン・イレブン・記念財団を通じて加盟店と一体となった環境をテーマにした社員貢献活動に1993年から取組。														61~80						
												29-31	運用対策	推進体制の整備	1年度に合わせ社員全員に環境基礎知識のラーニングを実施。 2014年度から従業員の「eco検定」取得を進め、2017年度合格者1,018人(累計1,800人以上)	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄物の削減を図ること。	購物由来のバイオマスレジ袋を使用し、CO2排出量30%削減																				
												29-31	運用対策	伝熱合理化・空調・給湯	店舗に対する省エネ100項目を中心とした省エネ啓発の継続実施	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	その他	夏期ポロシャツ型ユニフォーム着用による空調温度適正化																				
												29-31	運用対策	変換合理化・照明・事務機器	スマートセンサー設置による電気のみえる化を進めており、個店で省エネ行為を促進																								
												29-31	設備導入	照明設備	LED化店舗数(H20年度実施数) 店頭看板:57店 店内照明:34店 サインポール看板:39店																								
株式会社ファミリーマート	30	28	49,962	31	51,303	102.7%	38,709	77.5%	★	97.0%	92.3%	29-31	運用対策	推進体制の整備	年3回、全店舗に対して、冊子を配布して環境教育を実施。	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	店舗や事務所の周辺において、清掃活動を実施。														31~60						
												29-31	設備導入	電気使用設備	省電力の冷蔵庫導入	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	低消費電力・省電の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄物の削減を図ること。	事務所において、社内メール利用時に活用済み封筒を活用する他、コピー使用時に両面印刷や裏紙使用を行う。																				
												29-31	設備導入	空調機と設備	省電力の空調機の導入	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務用冷凍空調機器の定期的な点検等、適切に冷暖房の停止措置を図ること。	店舗の冷蔵・冷凍機器を従前毎に専門業者が定期点検を行い、適切に冷暖房の停止措置を図ること。																				
ミニストップ株式会社 幕張事務所	30	28	12,360	31	12,000	97.1%	10,988	88.9%	★	97.1%	90.7%	29-31	設備導入	電気使用設備	省電力の冷蔵庫導入																31~60								
												29-31	設備導入	空調機と設備	省電力の空調機の導入																								
												29-31	設備導入	照明設備	LED等の導入																								
山崎製パン株式会社	30	28	3,243	31	3,243	100.0%	2,707	83.5%	★	97.0%	87.8%	29-31	運用対策	エネルギーデータ管理	継続的に年・季節・月・週・日・時間単位等でエネルギー管理を実施し、数値、グラフ等で過去の実績と比較したエネルギーの消費動向等を把握した。																31~60								
												29-31	運用対策	伝熱合理化・空調・給湯	冷暖房温度は、政府の推奨する設定温度を勘案して設定した。																								
												29-31	設備導入	空調機と設備	適切な台数分割及び台数制御、部分負荷運転時に効率的な機器又は蓄熱システム等、負荷変動に応じた効率の高い運転が可能となるシステムを採用した。																								
株式会社ローソン	30	28	22,145	31	21,481	97.0%	24,189	109.1%	★	97.0%	97.6%	29-31	運用対策	推進体制の整備	6月CSV推進担当向け社内環境研修実施 10月全従業員向け環境一般研修のラーニング実施	29-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域や学校に対し、環境に関するイベントや出前講座を開催すること。	毎年、全国60箇所の小・中学校での緑化活動等を実施															31~60					
												29-31	運用対策	伝熱合理化・空調・給湯	6-9月クールチェイスPOPを事務所に掲示し、周知を実施	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	業務工程での工夫により、廃棄物の適切な分類を図ること。	リサイクルの活用																				
												29-31	運用対策	変換合理化・照明・事務機器	就業時間後の不要照明の消灯アナウンスを実施	29-31	エネルギー起源以外の削減取組	低GWPの業務用冷凍空調機器を使用すること。	新店・既存店入替																				
												29-31	運用対策	変換合理化・照明・事務機器	PC等、節電モードの設定を実施	29-31	排出削減技術等の開発・普及	省エネルギーに関する環境マネジメントシステム等を普及すること。	内部環境監査実施																				
												29-31	設備導入	照明設備	新店の店内照明LED標準化 既存店の計画的な入替実施																								
29-31	設備導入	燃料の選択	CO2削減を使用した冷凍・冷蔵システムの導入																																				
29-31	設備導入	燃料の選択	太陽光発電の活用																																				